

土壌汚染調査

「365日」技術管理者が対応いたします

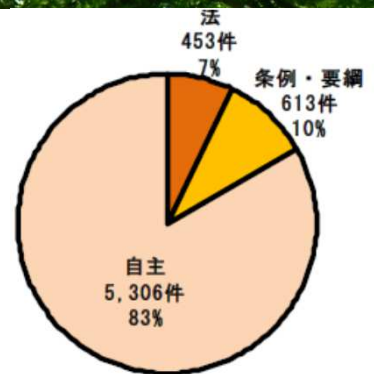
土壌汚染調査の件数

土壌汚染対策法は2002年(平成14年)に制定され、翌年2月15日から施行されました。

現在実施されている土壌汚染調査の約83%が土壌汚染踏査に基づく義務的な調査ではなく、自主的に行われている調査です。

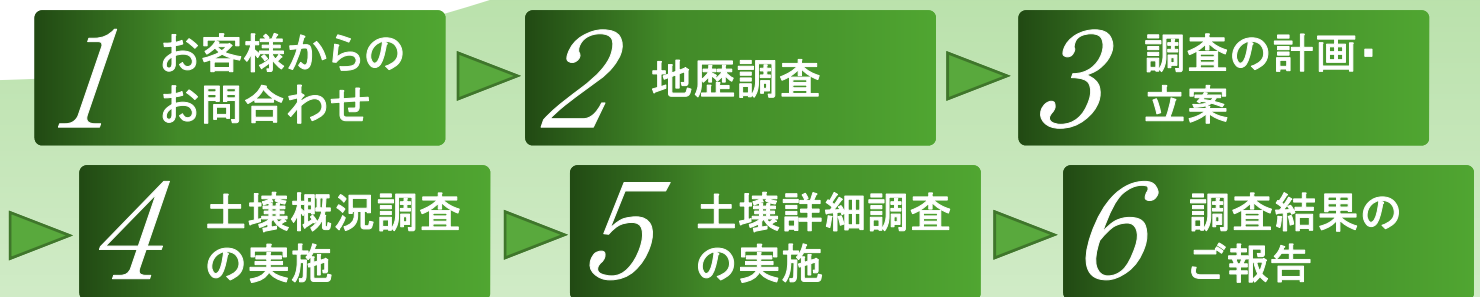
事前に汚染のリスクや土地の資産価値を正しく把握し、トラブル回避のために自主的な土壌汚染調査が行われています。

特に都市部においては、工場の土地売買・土地活用を契機に、土壌汚染調査を実施するケースが増えてきています。



土壌環境センターHP
「土壌汚染状況調査・対策」に関する
実態調査結果(H26年度)より

土壌汚染調査のながれ



ここでは土壌調査の主なながれを記載しています。調査の詳細につきましては担当者にお問合せください。また、当社ではお客様のご要望に合わせ、行政対応や土壌汚染対策についてもご提案致します。

株式会社環境の土壌汚染調査の特徴



土壤汚染調査

「365日」技術管理者が対応いたします

地歴調査

土地利用履歴について下記の情報を収集して調査対象地における土壤汚染のリスクを検討します。

- ①登記簿謄本や住宅地図・地形図、空中写真等による調査対象地とその周辺の土地や建物の利用状況の変遷についての調査
- ②聞き取り調査
- ③現地踏査



土壤ガス調査・表層土壤調査

第一種特定有害物質
(揮発性有機化合物)
地表から深さ約1mの土壤
ガスを採取・分析して汚染
の可能性を調査します。



第二種特定有害物質、第三種特定有害物質
(重金属類、農薬類・PCB)
土壤表面から50cmまでの土壤を採取・分析して汚染の有無を調査します。



詳細調査

土壤汚染の平面的な汚染の広がりを把握したのち、ボーリング調査により汚染の深さを調査します。

また、土壤汚染の状況によっては敷地内に観測井を設置して地下水の水質や流向・流速などを測定し、地下水の汚染状況を把握します。



お問合せ

株式会社環境

〒581-0092

大阪府八尾市老原4丁目141番の28



☎ 072-949-2863

✉ kanbun@kankyo-yao.co.jp

<http://kankyo.hp.gogo.jp/pc/>